

おおすがわりゅういき てんしょうじがわしゅうへん
18. 大須賀川流域 (天昌寺川周辺)



この地域は、成田市の北部に位置する天昌寺川の流域を含んでいます。中央部の川に沿って南北に細長い谷津田が広がっており、その周辺は丘陵地となっています。

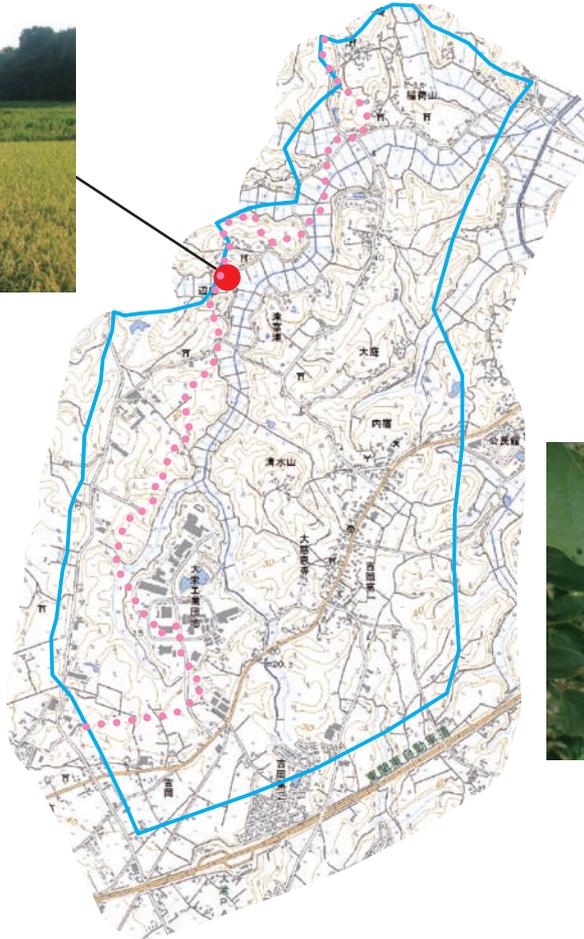
丘陵地は、ほとんどが畑地として利用されています。その周辺はスギ・ヒノキ植林となっていますが、これらに混じて落葉樹の群落も見られます。

ここでは、水辺や樹林を好む生き物が多く見られます。

水辺では、トンボやチョウの仲間が多く見られます。谷津田では、ヨシに止まって鳴いているニホンアマガエルや、水面から顔を出しているトウキョウダルマガエルなどが多く見られます。また、畦ではニホンカナヘビやモグラ塚も多く見られます。水田で餌を採ったり、休息したりするダイサギやコサギなどのサギの仲間や、セキレイの仲間が見られるほか、樹林地ではウグイスやコジュケイなどの鳥類の鳴き声がよく聞こえます。



谷津田と丘陵の樹林地



トウキョウダルマガエル



コジュケイ



キタテハ

凡例

- 自然観察ルート
- 写真撮影ポイント

この地図は、国土地理院の電子地図25000『成田空港』、『佐原西部』を使用したものである。

第3次調査確認種数

種別	確認種数
植物	395種
ほ乳類	7種
鳥類	33種
両生類・は虫類	5種
昆虫類	226種
底生生物・魚類	7種

第1次調査、第2次調査は、実施していない。



ウグイス